

平成 2 1 年 度 再 評 価 対 象 事 業 一 覧

再評価対象事業の該当条件

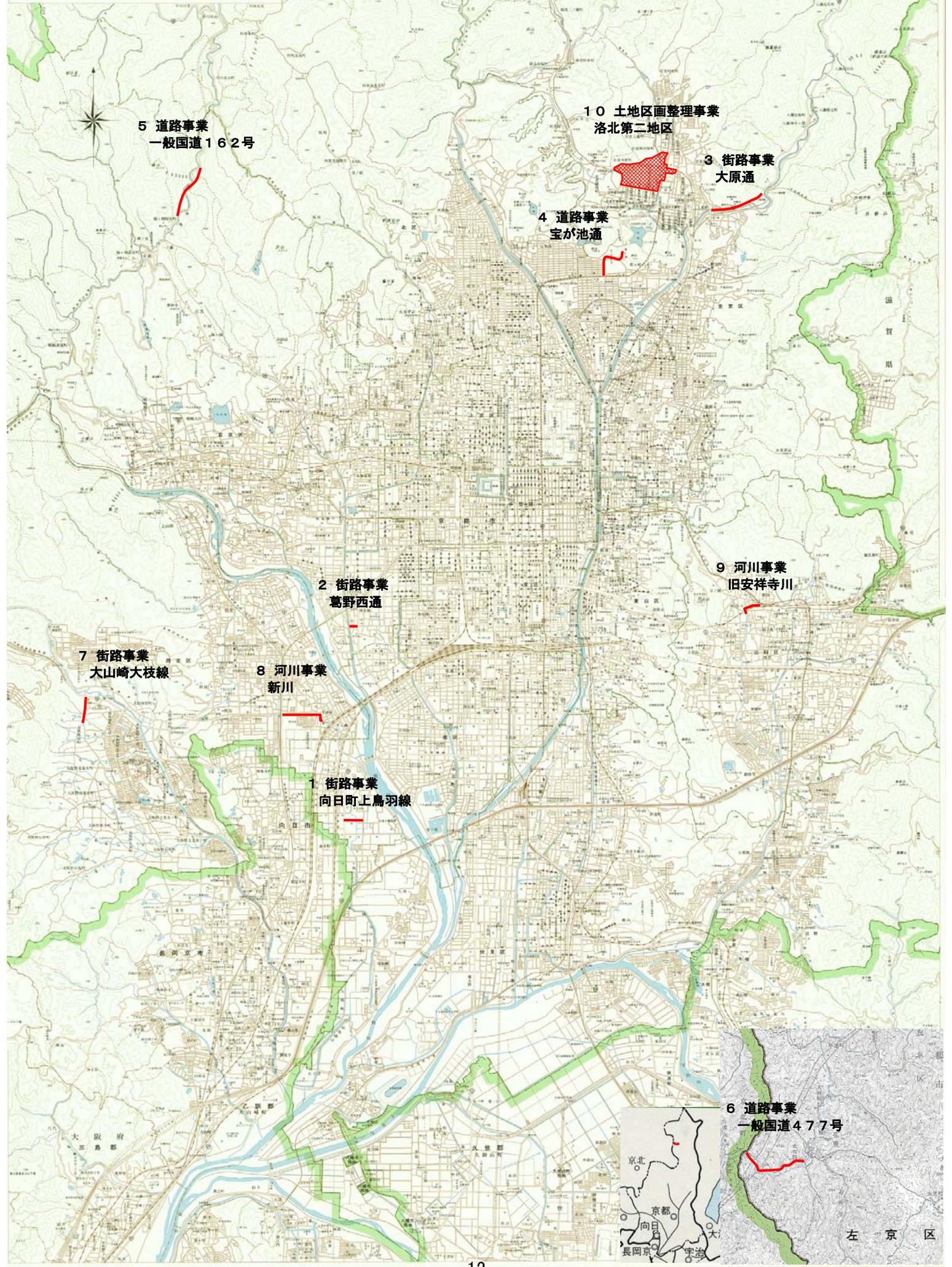
- ① 事業採択後 5 年間を経過した時点で未着工の事業
 ② 事業採択後 10 年間（環境衛生施設整備事業については 5 年間）を経過した時点で継続中の事業
 ③ 再評価の実施後 5 年間を経過した時点で継続中の事業
 ④ 社会経済情勢の急激な変化，技術革新等により再評価を実施することが必要であると認められる事業

種別	番号	補単*	事業名	事業概要	採択年度	該当条件	経過年数**	進捗率(%)		備考
								H24.3	再評価時	
街路事業	1	補	向日町上鳥羽線 (第一工区)	延長 L=395m 幅員 W=22.0m	H1	③	24	99.0	98.7	
	2	単	葛野西通	延長 L=177m 幅員 W=16.0m	H2	③	23	100.0	90.9	平成22年度 完成
	3	単	大原通	延長 L=1,114m 幅員 W=12.0m	S59	③	29	100.0	82.5	平成21年度 完成
道路事業	4	単	宝が池通	延長 L=870m 幅員 W=11.0~16.5m	H15 (S55)	③	10 (33)	100.0	89.6	平成23年度 完成
	5	補	一般国道 162 号 (川東拡幅)	延長 L=2,150m 幅員 W=7.5m	H12	②	13	44.3	44.0	
	6	補	一般国道 477 号 (大布施拡幅)	延長 L=2,195m 幅員 W=9.0m	H2	③	23	72.5	59.6	
	7	補	(主)大山崎大枝線 (沓掛 I 工区)	延長 L=520m 幅員 W=23.75m	H12	②	13	89.5	65.3	
河川事業	8	補	旧安祥寺川	延長 L=400m	H2	③	23	26.7	11.3	
	9	補	新川	延長 L=890m	H7	③	18	64.9	48.3	
整地 地区画 事業	10	単	洛北第二地区	面積 A=53.3ha	S53	③	35	98.8	96.7	

* 「補」は国庫補助事業，「単」は京都市単独事業を示す。

** 経過年数は平成 24 年度における年数を示す。

京都市街図 平成21年度 再評価対象事業箇所図



平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成24年3月末)

事業名	街路事業 向日町上鳥羽線（第一工区）		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市南区久世殿城町 至：京都市南区久世大藪町		延長及び幅員	延長L= 395 m 幅員W= 22 m
事業採択年度	平成元年度	完成予定年度	当初：平成 5年度 変更：平成25年度（事業認可最終年度）	
事業進捗		箇所図		
種別	全体事業	平成23年度末		
工事	L= 395 m C= 253 百万円	L= 365 m C= 234 百万円		
用地	A= 7,568 m ² C= 2,479 百万円	A= 7,568 m ² C= 2,479 百万円		
その他	C= 324 百万円	C= 312 百万円		
計	C= 3,056 百万円	C= 3,025 百万円		
進捗率	98.7% ※ 【平成21年度再評価時】	99.0% 【平成24年3月末】		
平成21年度再評価時点での課題，問題点				
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業区間（第一工区）は，第二工区と合わせ，全線（国道171号から葛野大路間）供用を予定しており，第二工区の整備促進向上に向け，用地買収，工事を進める必要がある。 				
平成23年度の取組				
<ul style="list-style-type: none"> ・国道171号との交差点協議を行った。 				
平成24年度以降の取組				
当面の目標	・平成24年度中の工事完了，供用開始			
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・国道171号久世橋付近の交通渋滞の緩和 ・本市南西部地域の活性化に資する幹線道路の整備 ・災害時の緊急輸送路の代替機能を果たす幹線道路ネットワークの形成 			
発現年度	・平成24年度			

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成24年3月末)

事業名	道路事業 宝が池通		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：狐坂 至：北山通		延長及び幅員	延長L= 870m 幅員W= 11.0m[狐坂工区] 16.5m[北山工区]
事業採択年度	当初：昭和55年度 変更：平成15年度		完成予定年度	当初：平成19年度 変更：平成23年度(狐坂工区は18年度完成)
事業進捗			箇所図	
年度	全体事業	平成23年度末	<p>道路事業 宝が池通(狐坂～北山通) 全体事業延長L=870m 狐坂工区L=600m 北山工区L=270m 橋梁区間L=130m 宝が池公園スポーツ広場</p>	
工事	L= 870 m C= 1,249 百万円	L= 870 m C= 1,249 百万円		
用地	A= 580 m ² C= 121 百万円	A= 580 m ² C= 121 百万円		
その他	C= 183 百万円	C= 183 百万円		
計	C= 1,553 百万円	C= 1,553 百万円		
進捗率	89.6% ※ 【平成21年度再評価時】	100.0% 【平成24年3月末】		
平成21年度再評価時点での課題、問題点				
<p>本事業は、市中心部と岩倉地区をはじめとする本市北部地域を結ぶだけでなく国立京都国際会館や宝が池公園へのアクセス道路ともなっている幹線道路であり、急勾配やヘアピンカーブの箇所の改善及び歩道整備により車両や歩行者などの安全確保を図るものである。</p> <p>今後は、関連事業である無電柱化事業の事業進捗を図り、残事業の早期完成に努める。</p>				
平成23年度を取組				
<ul style="list-style-type: none"> 道路の区域変更手続きを行い、事業を完了した。 				
平成24年度以降を取組				
<ul style="list-style-type: none"> 事業効果 本路線は、京都市中心部と岩倉地域とを結ぶ重要な道路であり、急勾配やヘアピンカーブの箇所の改善及び歩道整備により車両や歩行者などの安全確保を図る。また、無電柱化工事により、自転車や歩行者の安全な通行を確保する。 発現年度 平成22年度 				

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成24年3月末)

事業名	道路事業 一般国道162号(川東拡幅)		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市右京区梅ヶ畑川西町 至：京都市右京区梅ヶ畑川東		延長及び幅員	延長L=2,150m 幅員W=7.5m
事業採択年度	平成12年度	完成予定年度	平成29年度(道路整備事業見直し前)	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成23年度末		
工事	L= 2,150 m C= 6,865 百万円	L= 850 m C= 2,984 百万円		
用地	A= 19,714 m ² C= 255 百万円	A= 8,652 m ² C= 59 百万円		
その他	C= 351 百万円	C= 269 百万円		
計	C= 7,471 百万円	C= 3,312 百万円		
進捗率	44.0% ※ 【平成21年度再評価時】	44.3% 【平成24年3月末】		
平成21年度再評価時点での課題、問題点				
<p>第1工区(延長850m)は、平成20年3月に完成しており、供用を開始している。引き続き第2工区の整備を行うことにより、現状の幅員狭小、線形不良を解消し、市街地と右京区京北を結ぶ道路として、災害時や緊急時の円滑なアクセスを確保する。</p>				
平成23年度の実績				
<p>財政状況が厳しく、予算確保が出来なかった。</p>				
平成24年度以降の実績				
<p>平成24年3月に策定した「道路整備事業の見直し」に基づき、事業進捗を原則、今後4年間見送る。</p>				

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成24年3月末)

事業名	道路事業 一般国道477号(大布施拡幅)		事業所管課	建設局道路建設部道路建設課
事業区間	自：京都市左京区花脊大布施町 至：京都市左京区花脊大布施町		延長及び幅員	延長L=2,195m 幅員W=9.0m
事業採択年度	平成2年度	完成予定年度	当初：平成11年度 変更：平成26年度(道路整備事業見直し前)	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成23年度末		
工事	L= 2,195 m C= 3,818 百万円	L= 1,585 m C= 2,673 百万円		
用地	A= 24,864 m ² C= 235 百万円	A= 23,650 m ² C= 228 百万円		
その他	C= 147 百万円	C= 142 百万円		
計	C= 4,200 百万円	C= 3,043 百万円		
進捗率	59.6% ※ 【平成21年度再評価時】	72.5% 【平成24年3月末】		
<p>平成21年度再評価時点での課題，問題点</p> <p>本路線の整備により，花脊地区と京北地域を結ぶ日常的な通行の安全・安定性の確保や，災害時や緊急時にも強い道づくりが推進され，また，大阪・京都・滋賀の連絡強化と北部地域を連携する道路のネットワークが形成されるが，補助事業の予算枠が伸びず，また，本市財政が逼迫しているなどの理由から本事業に対する予算投入に制限があり進捗を図れない。</p>				
<p>平成23年度 of 取組</p> <p>財政状況が厳しく，予算確保が出来なかった。</p>				
<p>平成24年度以降 of 取組</p> <p>平成24年3月に策定した「道路整備事業の見直し」に基づき，事業進捗を原則，今後4年間見送る。</p>				

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成24年3月末)

事業名	道路事業 主要府道 大山崎大枝線 (沓掛工区)		事業所管課	建設局 事業推進室
事業区間	自：京都市西京区大枝沓掛町 至：京都市西京区大枝西長町		延長及び幅員	延長L = 520 m 幅員W = 23.75 m
事業採択年度	平成12年度	完成予定年度	平成24年度	
事業進捗		箇所図		
種別	全体事業	平成23年度末		
工事	L = 520 m C = 1,043 百万円	L = 311 m C = 623 百万円		
用地	A = 12,169 m ² C = 2,957 百万円	A = 12,169 m ² C = 2,957 百万円		
その他	C = 0 百万円	C = 0 百万円		
計	C = 4,000 百万円	C = 3,580 百万円		
進捗率	65.3 % ※ 【平成21年度再評価時】	89.5 % 【平成24年3月末】		
平成21年度再評価時点での課題、問題点				
<p>住民とのパートナーシップと環境・景観に更なる配慮が必要である。</p> <p>また、本路線は、平成24年度完成予定の京都第二外環状道路の連絡道路としての役割を担うことから、京都第二外環状道路と整合した工程で進める必要があるため、本事業は平成24年度に完成させる。</p>				
平成23年度 of 取組				
<p>本工区は現道を東側へ拡幅するものであるが、平成23年度は、西側車線の改良工事を行った。</p> <p>道路植栽や自転車道については、住民と協議をし、住民の意見を取り入れながらパートナーシップを図り、環境・景観に配慮しつつ決定した。</p>				
平成24年度以降 of 取組				
<p>当面の目標</p> <p>本路線は、平成24年度完成予定の京都第二外環状道路の連絡道路としての役割を担うことから、京都第二外環状道路と整合した工程で進める必要があるため、平成24年度の完成に向け鋭意施工を行う。</p> <p>事業効果</p> <p>本路線を整備することにより、通過目的の交通を京都第二外環状道路に転換し、地域交通の円滑化と安全性を向上させ地域の活性化を図る。</p> <p>発現年度</p> <p>平成24年度</p>				

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成24年3月末)

事業名	河川事業 旧安祥寺川		事業所管課	建設局水と緑環境部 河川整備課
事業区間	自:京都市山科区御陵久保町 至:京都市山科区御陵荒巻町		延長及び幅員	延長L = 400m
事業採択年度	平成2年度	完成予定年度	当初:平成9年度 変更:平成30年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成23年度末		
工事	L= 400 m C= 3,752 百万円	L= 0 m C= 625 百万円		
用地	A= 2,069 m ² C= 283 百万円	A= 2,053 m ² C= 260 百万円		
その他	C= 293 百万円	C= 224 百万円		
計	C= 4,328 百万円	C= 1,109 百万円		
進捗率	11.3% ※ 【平成21年度再評価時】	25.6% 【平成24年3月末】		
<p>平成21年度再評価時点での課題, 問題点</p> <p>度重なる浸水被害を解消すべく, 旧安祥寺川を早期に改修する必要があることから「事業継続」は妥当であるとの判断をいただいた。 今後は, 当事業に予算を集中投資し, 当該河川流域の早期の治水効果発現を目指すこととしている。</p>				
<p>平成23年度の実績</p> <p>平成23年度は, JR横断部の工事を実施するための工事用進入路や発進及び到達立坑工の設置工事を行った。</p>				
<p>平成24年度以降の実績</p> <p>当面の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度までにJR横断部の工事を完了させる。 JR横断部の工事完了後, 引き続きJR並行部等の工事に着手することとする。 <p>事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧安祥寺川の氾濫を防ぎ, 流域の治水安全度を高める。 <p>発現年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 				

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

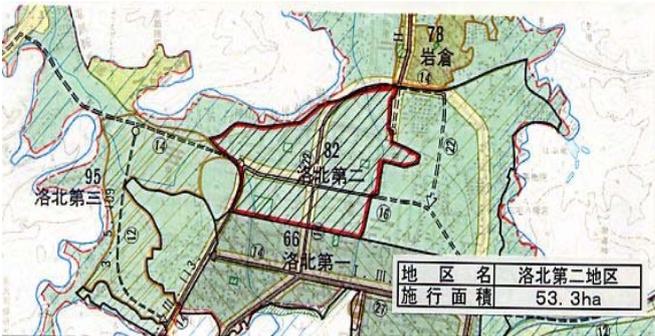
(平成24年3月末)

事業名	河川事業 新川		事業所管課	建設局水と緑環境部 河川整備課
事業区間	自：京都市西京区下津林前泓町 至：京都市西京区川島延田町		延長及び幅員	延長L = 890 m 幅員W = 6 m
事業採択年度	平成7年度	完成予定年度	当初：平成21年度 変更：平成30年度	
事業進捗			箇所図	
年度	全体事業	平成23年度末		
工事	L= 890 m C= 3,043 百万円	L= 488 m C= 1,573 百万円		
用地	A= 1,108 m ² C= 875 百万円	A= 1,108 m ² C= 875 百万円		
その他	C= 390 百万円	C= 350 百万円		
計	C= 4,308 百万円	C= 2,798 百万円		
進捗率	48.3% ※ 【平成21年度再評価時】	64.9% 【平成24年3月末】		
<p>平成21年度再評価時点での課題，問題点</p> <p>流域の浸水防除を推進するため，今後，下水道事業と連携した事業進捗を図る必要があることから「事業継続」は妥当と判断いただいた。 工事を進めるにあたっては，地下水位の観測，地下水質の監視を常に行い，地下水に影響が出ないように配慮する必要がある。</p>				
<p>平成23年度取組</p> <p>工事の影響を監視するための地下水調査を継続して実施している。 平成23年度は阪急南住宅北側の護岸工事及び桜並木整備事業を行った。</p>				
<p>平成24年度以降取組</p> <p>当面の目標 水掛橋上流の雨水幹線接続箇所までの護岸改修を，平成26年度を目標に進め，流域内の治水安全度のさらなる向上を目指す。</p> <p>事業効果 本事業に併せて整備が予定されている雨水幹線との相乗効果により，効率良く雨水を流下させられるため，流域内の浸水被害の軽減に寄与できる。</p> <p>発現年度 平成30年度</p>				

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成21年度再評価事業フォローアップ調書

(平成24年3月末)

事業名	土地区画整理事業 洛北第二地区		事業所管課	建設局都市整備部整備推進課
事業区間	京都市左京区岩倉忠在地町他		延長及び幅員	面積 A = 53.3 ha
事業採択年度	昭和53年度	完成予定年度	当初：昭和57年度 変更：平成25年度	
事業進捗		箇所図		
年度	全体事業	平成23年度末	N △	
工事	A= 53.3 ha C= 5,660 百万円	A= ha C= 5,646 百万円		
用地	A= m ² C= 百万円	A= m ² C= 百万円		
その他	C= 1,812 百万円	C= 1,736 百万円		
計	C= 7,472 百万円	C= 7,382 百万円		
進捗率 (仮換地 指定率)	96.7% ※ (100.0%) 【平成21年度再評価時】	98.8% (100.0%) 【平成24年3月末】		
<p>平成21年度再評価時点での課題，問題点</p> <p>(1) 宝池通の整備工事を実施するとともに，換地計画の策定等換地処分に向けた取組みを行い，早期の事業完了を目指す。</p> <p>(2) 評価委員会においては，「平成20年度において仮換地指定率は100%に達し，また，平成21年度末には道路築造率も100%に達する予定であり，事業としては最終段階にあることから事業継続は妥当であると判断した。」という意見をいただいた。</p>				
<p>平成23年度取組</p> <p>地区全域の出来形確認測量を実施した（一部，未実施）。</p> <p>換地処分に向け，換地計画策定準備を行った。</p> <p>事業計画変更（施行期間の延伸（清算期間を含む）及び資金計画の変更）を行った。</p>				
<p>平成24年度以降取組</p> <p>当面の目標</p> <p>平成24年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区全域の出来形確認測量，換地計画案の作成 <p>平成25年度以降取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 換地計画の策定，換地処分 等 <p>事業効果</p> <p>道路，水路，公園等公共施設の整備により良好な宅地化が進み，今後ますます地域の発展が期待できる。</p>				

※再評価を実施した年度当初の事業推進率を示す。